

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【公表番号】特表2014-529440(P2014-529440A)

【公表日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2014-062

【出願番号】特願2014-526597(P2014-526597)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 B 17/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

A 6 1 B 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月21日(2015.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

硬組織にトンネル形成するための関節鏡視下手術装置であって、当該装置は：

弧状のトンネル形成針推進器と；

骨係合要素とを有し、

前記弧状針推進器と前記骨係合要素とは、いっしょに結合されて、少なくとも2つの異なる作動配置を持った、結合された針推進器および骨係合要素を提供し、前記少なくとも2つの異なる作動配置が：

関節鏡視の作動配置を有し、該関節鏡視の作動配置では、前記の結合された弧状針推進器および骨係合要素が、貫通切開挿入の横断面フットプリントを持っており；

トンネル形成に適合したトンネル形成の作動配置を有し、該トンネル形成の作動配置では、前記の結合された弧状針推進器および骨係合要素が、前記の挿入の横断面フットプリントより実質的に大きいトンネル形成の横断面フットプリントを持っている、

前記硬組織にトンネル形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項2】

硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置であって：

少なくとも部分的にフレキシブルな弧状のトンネル形成針推進器と；

骨係合要素とを有し、

前記少なくとも部分的にフレキシブルな弧状のトンネル形成針推進器が、針押し要素を有しており、該針押し要素は、それ自体が針を推進する動作を行う間に、弧状の配置状態を呈し得るものである、

前記硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項3】

前記少なくとも部分的にフレキシブルな弧状針推進器と前記骨係合要素とが、いっしょに結合されて、結合された弧状針推進器および骨係合要素を提供し、前記結合された弧状針推進器および骨係合要素は、少なくとも2つの異なる作動配置を持っており、該少なくとも2つの異なる作動配置が：

関節鏡視の作動配置を有し、該関節鏡視の作動配置では、前記の結合された弧状針推

進器および骨係合要素が、貫通切開挿入の横断面フットプリントを持っており；

トンネル形成に適合したトンネル形成の作動配置を有し、該トンネル形成の作動配置では、前記の結合された弧状針推進器および骨係合要素が、前記の挿入の横断面フットプリントより実質的に大きいトンネル形成の横断面フットプリントを持っている、

請求項2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項4】

前記貫通切開挿入の横断面フットプリントが、関節鏡視下の挿入に適合しており、前記トンネル形成の横断面フットプリントが、関節鏡視下の挿入には適合していない、請求項1または3記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項5】

前記骨係合要素が、回転可能な骨係合要素である、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項6】

さらに、細長い骨係合ピンを含む骨係合ピン推進アセンブリをも有する、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項7】

前記骨係合ピンが、テーパー状のねじ山を含む、請求項6記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項8】

前記弧状のトンネル形成針推進器が：

1つの軸について往復運動するように構成された、手に係合可能なラチェットハンドルと；

選択可能な方向のラチェットギヤシャフトとを有する、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項9】

さらに、弧状のトンネル形成針をも有する、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項10】

前記弧状のトンネル形成針推進器が：

フレキシブルな針推進片と；

フレキシブルな針推進片の後方端において取付けられた、概して剛性を有する、フレキシブルな針推進片の推進シャフトとを含む、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項11】

さらに、弧状針を格納しかつガイドする部分をも有し、該部分は、弧状の内腔を持つものとして形成されている、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項12】

さらに、骨係合要素位置決めアセンブリをも有し、該骨係合要素位置決めアセンブリが：

指に係合可能な解放トリガーと；

指に係合可能な骨係合要素前進つまみと；

中空の骨係合要素推進シャフトと

を有する、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項13】

さらに、針と縫合糸の取付けアセンブリをも有する、請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項14】

さらに、骨縫合糸挿入アセンブリをも含み、該骨縫合糸挿入アセンブリは：  
ループ状にされた縫合糸を有し；かつ

前記ループ状にされた縫合糸を選択可能に張力調整するために、前記ループ状にされた縫合糸に接続された、張力調整可能な弾性的な細長い要素を有する、  
請求項1または2記載の硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置。

【請求項 1 5】

硬組織にトンネルを形成するための関節鏡視下手術装置と共に使用するための骨縫合糸挿入アセンブリであって、前記アセンブリは：

ループ状にされた縫合糸を有し；かつ

前記ループ状にされた縫合糸を選択可能に張力調整するために、前記ループ状にされた縫合糸に接続された、張力調整可能な弾性的な細長い要素を有する、  
前記骨縫合糸挿入アセンブリ。